

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 11 日

評価対象事業	教育	-	21	鎌倉市にふさわしい博物館事業					☐ 法定受託事務
所管課	生涯学習課				評価者	生涯学習課長 飯田 拓也			
一般	会計	款	55	項	20	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	歴史環境			施策の方針名		文化財の保護		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	鎌倉市にふさわしい博物館の在り方を検討し、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるため。
効果	市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	鎌倉市にふさわしい博物館基本計画の素案作成、鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会の開催	鎌倉市にふさわしい博物館基本計画の策定、鎌倉ミュージアムの運営	鎌倉ミュージアムの運営
予算額（千円）	804	3,753	
国県支出金		2,732	
地方債			
その他			
一般財源	804	1,021	0
当初人員配置数	1.3	1.7	0.0
人件費（千円）	7,520	12,802	0
事業実績	鎌倉市にふさわしい博物館基本計画の素案作成、鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会の開催（2回）		
決算額（千円）	449		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	449	0	0
人員配置実績数	1.3	0.0	0.0
人件費（千円）	7,317	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	デジタル化した資料の数	件／年	0	↗	0		
	実績につながる活動	鎌倉市にふさわしい博物館基本計画の素案にデジタルミュージアム事業を位置付け、今後の実施に向けたアクションスケジュールを検討した。				0		
活2	指標名	フィールドワークの実施回数	回／年	0	↗	0		
	実績につながる活動	鎌倉市にふさわしい博物館基本計画の素案にフィールドミュージアム事業を位置付け、今後の実施に向けて情報収集を進めた。				0		
活3	指標名	鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会の実施回数	回／年	2	⇒	2		
	実績につながる活動	年2回の委員会を実施し、素案の検討を行った。				449		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	年2回、鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会を開催し、令和8年度の基本計画策定に向けた検討を着実に進めた。具体的な事業は令和8年度の計画策定後に実施するため、令和7年度は資料のデジタル化やフィールドワークは実施していないが、アクションスケジュールの作成や情報収集等を行い、実施に向けた準備を進めている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	フィールドワークへ参加者数	人	0	↗	0			1 2
成2	博物館ホームページへのアクセス数	件	82,181	↗	66,084			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	博物館HPのアクセス数は、データベース公開後の利用状況を測る指標として設定しており、令和7年度は公開前のため、当事業の成果が反映された数字ではないが、令和8年度の策定に向けて基本計画素案の作成やアクションスケジュールの整理、情報収集を進め、公開に向けた準備を着実に進めた。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	フィールドミュージアム事業、デジタルミュージアム事業ともに、令和8年度の基本計画策定に向けて計画素案への位置付けを行い、情報収集やアクションスケジュールの整理など、実施に向けた準備を進めた。令和8年度は本格実施前の段階であったが、両事業とも令和8年度以降の展開に向けた基盤を整えることができた。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	評価実施年度の方向性		⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	□ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	⇒ ■ ② 事業内容は見直す	→ ■ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	□ ③ 事業は休止又は廃止する		
		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持	□ ⑤ 予算規模は現状維持とする		
		□ 予算規模は拡大済	⇒ ■ ⑥ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ⑦ 予算規模は縮小する		

	課題への対応	結果	具体的な内容
今後の取組方針（見直し方針）	前年度の新たな課題への対応結果	一部解決	エコミュージアムの理念を取り入れ、鎌倉にふさわしい形に再構成した「鎌倉ミュージアム」を基本計画に位置付けた。今後は、市民との連携・協働体制をどのように構築し、運営していくかを検討する必要がある。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たな課題あり	令和8年度以降に具体的な事業を実施する予定であり、新規事業となるデジタルミュージアム及びフィールドミュージアムを着実に進めていく必要がある。あわせて、市民との連携・協働を円滑に構築し、継続的に運営していくための方策について、十分に検討する必要がある。
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性あり	令和8年度からは、基本計画に基づき、デジタルミュージアム及びフィールドミュージアムの運営を開始する必要がある。
	総評	令和8年度以降は、基本計画に基づき、デジタルミュージアム及びフィールドミュージアムの具体的な事業展開を着実に進めていく必要がある。あわせて、市民との連携・協働体制を円滑に構築し、継続的に運営していくための体制整備や検討を進めることが重要である。	
			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	博物館に係るデジタルアーカイブの公開件数								
団体名	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市	相模原市					
他市実績	0	15,599	2,934	5,974					
		おだわらデジタルミュージアム	ちがさきデータベース	相模原市デジタルアーカイブ					
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	図書館等単体のデジタルアーカイブは含めず、博物館資料を含めて公開している総合的なデジタルアーカイブを対象とした。鎌倉市では中央図書館及び文化財課がそれぞれデータベース公開を行っている。								